

本県における水稲の位置づけ

【作付延面積】

○水稲の作付けは、いずれも過半を占め、耕地利用上の重要な品目

★平成10年 (単位: %, ha)

水稲	野菜	果樹	その他
48 (16,500)	21 (7,138)	11 (3,810)	20 (6,652)

★平成20年 (単位: %, ha)

水稲	野菜	果樹	その他
53 (15,200)	20 (5,610)	9(2,680)	18 (5,110)
(10年比 83%)			

※) 香川農林水産統計年報

【販売農家(単一経営:主位部門 80%以上)】

○販売農家のうち、水稲の収益が80%以上の農家が3/4を占める。

★平成7年 (単位: %, 戸)

水稲	野菜	果樹	その他
80 (22,668)	6 (1,689)	7 (1,957)	7 (1,927)

★平成17年 (単位: %, 戸)

水稲	野菜	果樹	その他
75 (16,048)	10 (2,091)	8 (1,749)	7 (1,451)
(7年比 75%)			

※) 2005、1995センサス

【農業産出額】

○水稲の割合は約20%で、全国平均と同水準
○野菜が30%と大きいのが特徴(全国平均: 22%)

★平成10年 (単位: %, 億円)

水稲	野菜	畜産	その他
20 (192)	34 (330)	25 (240)	21 (197)

★平成20年 (単位: %, 億円)

水稲	野菜	畜産	その他
21 (165)	31 (239)	32 (254)	16 (128)
(10年比 82%)			

※) 香川農林水産統計年報

【水稲経営の現状】

○認定農業者のうち、米麦を基幹作物とするのは1割未満(平成22年3月現在)(栽培面積は約750ha、水稲栽培面積の約5%)

○水稲作付面積の84%は、兼業農家により栽培 ※ 2005 センサスより試算

○付加価値をつけた水稲のブランド化も見られる。

・特徴ある米づくり ・水主米(33ha) ・合鴨米(3ha) ・七夕米(3ha)等

○水稲を主とした営農類型で、他産業並みの所得560万円を得るには6.2haの水稲栽培が必要。ただし、水稲で得られる所得は222万円で41%に過ぎない。 ※ 21県基本方針営農モデル

○水稲栽培の平均作付面積は45a/戸(全国平均: 89a/戸)で、規模は極めて零細。5ha以上作付する生産者も0.4%(全国平均: 4%)と少なく、規模拡大は進んでいない。

○水稲の生産コストは、全国平均に比べ約3割高く、他の産地との競争は不利

○本県産米の価格は、15,254円(20年産ヒノヒカリ)で、全国平均価格16,099円に比べ、安価に取引(▲845円) ※ コメ価格センター入札結果

【水稲生産の現場】

○兼業農家が主たる構成員である集落営農組織では、水稲を基幹作物として位置づけ、作付延べ面積の約70%で水稲を栽培

※ 21水田経営所得安定対策加入状況調査

○将来、集落内の農地や農業用水などを維持することが困難と考える生産者は約9割で、5年前より10ポイント増加。その対策として集落営農を効果的とする者は2/3

※ 22食品及び農業・農村に関する意識意向調査(農林水産省)ほか

○休日の管理作業でも十分栽培できる水稲は、集落営農向きの品目(日常の管理が必要な水管理は、集落内の助け合いで)

○水稲は、転作により自由に生産拡大できないが、新規需要米は需要の開拓を通じて、作付拡大は可能

○転作作物や裏作物としての露地野菜等の安定生産に貢献

・連作障害の回避 ・効率的な肥培管理 ・土壌病害の発生抑制

○農地の適正利用により、農業・農村が持つ多面的機能に貢献

・洪水防止 ・水資源かん養 ・大気浄化 ・気候緩和 など